

第11回リハビリテーション・ロボットに関する 国際会議

2009年6月23日（火）～26日（金）開催

企業展示・広告のお願い
（趣意書・申込書）

ご挨拶

謹啓

皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、きたる 2009 年 6 月 23 日（火）より 26 日（金）まで国立京都国際会館アネックスホールにおきまして、立命館大学工学部教授永井清を General Chair としまして、第 11 回リハビリテーション・ロボットに関する国際会議（2009 IEEE 11th International Conference on Rehabilitation Robotics : 略称 ICORR 2009）を開催いたします。ICORR は 1990 年に第 1 回が開催され、日本での開催は今回が初めてになります。

本会議では“Reaching Users & the Community”（「届けよう、ユーザと地域のもとに」）をメインテーマとし、リハビリ（機能回復）ロボット、自立支援ロボット、臨床・ユーザ評価、介護・介助支援ロボット、インテリジェント義肢、動力装具・パワーアシストスーツ、ロボット介在活動・療法など、福祉・リハビリ分野へのロボット応用に関して広く講演を募集する予定にしております。

本会議の特徴の一つとして、学術的な講演だけでなく、参加者の多くが実用化に対しても高い関心を示していることが挙げられます。そのため、毎回実際のユーザを招待して話をしてもらったり、機器展示を通して体験しながら議論したりすることを重要視しております。特に機器展示はインタラクティブ発表と同じ会場に設置する予定にしていますため、オランダでの前回大会でも発表時間中も含めて多数の参加者が機器展示を訪れて活発な意見交換をする光景が見られました。

過去に本会議が日本で開催されていないこともあって、海外の研究者には日本で開発されているこの分野のロボットが意外と知られていません。そこで多数の企業展示を行って、海外からの参加者との交流・情報交換を図っていただきたいと考えております。

つきましては、まことに恐縮に存じますが、上記の国際学会開催趣旨にご理解・ご賛同をいただき、企業展示・広告の形でご支援を賜りたく、切にお願い申し上げます。

謹言

2008 年 11 月吉日

ICORR 2009 Exhibit Chair 渋谷 恒司
龍谷大学工学部機械システム工学科准教授
ICORR 2009 General Chair 永井 清
立命館大学工学部ロボティクス学科教授

ICORR 2009 の概要

開催日時 : 2009 年 6 月 23 日 (火) ~26 日 (金)
開催場所 : 京都国際会館アネックスホール
参加者数 : 最低 260 名程度を想定 (国内 150 名、国外 110 名)
(実績 : ICORR 2007 (オランダ) : 290 名、ICORR 2005 (アメリカ) : 333 名)

開催の目的

ICORR 2009 の目的は、リハビリロボットや自立支援ロボットなどに関する研究発表の場を提供することにより、リハビリテーション・ロボティクス分野の技術開発を促進することです。また、リハビリテーション・ロボティクス分野の対象が、病から立ち上がって社会に復帰しようとする人々や、日常生活を取り戻したいと切に願う人々などであるため、リハビリテーション・ロボットのユーザや理学療法士など、現場の人々との密な意見交換の場を提供することも、会議の大きな目的です。また、日本では進んでいるが海外ではあまり研究が進んでいない領域、たとえばパワーアシスト、ヒューマノイドによる介護、いやしのためのロボットなどについて海外の研究者に発信・紹介していくことも目的としています。

Rehabilitation Robotics とは？

ICORR が対象とする研究課題は Rehabilitation Robotics です。この Rehabilitation Robotics は適当な日本語がないためにやや誤解を受けやすい用語です。Rehabilitation とは医学的な機能回復訓練をさすと思われがちですが、もっと広く、障害者福祉全般を含む概念です。ですから社会的リハビリテーションや教育的リハビリテーション、心理的リハビリテーションなどさまざまなアプローチも含まれます。つまり ICORR の主たる研究課題は、自立支援ロボット、機能回復支援ロボット、介護支援ロボット、神経・脳情報によるロボット制御、バイオロボット・バイオミメティクス、インテリジェント義肢、動力装具・パワーアシストスーツ、ロボット介在活動・療法、スマートハウスなど広い範囲を含んでいます。ロボットと名前に入っていますが広い意味でとらえていますので、形にとらわれるのではなく、ロボット関連技術が使われているものや、将来この分野のロボットに応用可能な技術はすべて含んでいます。発表内容も、将来のロボットのための基礎研究から、機器開発、臨床応用・評価、はたまた普及まで幅広く議論の対象となっています。

メインテーマ

本会議のメインテーマを“Reaching Users & the Community”（「届けよう、ユーザと地域のもとに」）と設定しました。これは、Rehabilitation Robotics が初期の研究・開発段階をすぎて、すでに実用化・普及を目指す段階に入りつつあることを意味しています。本国際会議は学術的な会議でありますので発表の大多数は研究・開発に関するものになりますが、メインテーマの趣旨を強調する意味でも、機器展示の充実こそが本大会成功のための重要な要素の一つであると考えております。メインテーマの趣旨にご賛同いただきましてご協力を頂ければ幸いに存じます。

過去の ICORR の開催地

- 第 1 回大会 アメリカ・デラウェア（1990）
- 第 8 回大会 韓国・大田（てじょん）（2003）
- 第 9 回大会 アメリカ・シカゴ（2005）
- 第 10 回大会 オランダ・Noordwijk（2007）

大会内容（予定）

- 23 日（火）テーマごとに分かれたワークショップ・チュートリアル講演（5 会場予定）
- 24 日（水）午前：特別講演、インタラクティブ発表
- 24 日（水）午後：Podium 発表、インタラクティブ発表、夕方研究室見学会
- 25 日（木）午前：特別講演、インタラクティブ発表
- 25 日（木）午後：Podium 発表、インタラクティブ発表、Gala Dinner
- 26 日（金）午前：特別講演、Podium 発表、インタラクティブ発表
- 26 日（金）午後：閉会式、ワークショップ
- 24～26 日 機器展示（15 社程度）、Lab 展示（10 研究室程度）

Podium 発表は、展示会場の隣のホールでの講演形式の発表です

インタラクティブ発表は、展示会場と同じ会場内で行われ、ポスターおよび机上に載る大きさのデモ機・パソコンを使って行う形式の発表です

Lab 展示は、大学や公的機関の研究室による展示で、まだ商品化の見込みがないものに限定したものです。

企業展示・広告のご案内

1. 学会開催概要

開催日時 : 2009年6月23日(火)～26日(金)

開催場所 : 京都国際会館アネックスホール (〒606-0001 京都市左京区宝ヶ池)

公式ウェブサイト : <http://icorr2009.org/>

2. 機器展示要領

展示場所 : 京都国際会館アネックス1

展示時間 : 搬入・設置(予定) : 6月23日(火) 13:00～17:00

展示(予定) : 6月24日(水) 10:00～17:00

6月25日(木) 9:00～17:00

6月26日(金) 9:00～13:00

搬出・撤去(予定) 6月26日(金) 13:00～17:00

展示スペース : 幅2000mm×奥行2000mm

出展料金 : 1小間 105,000円(税込)

募集小間数 : 10小間(予定)

注意事項 :

- ・ 展示台、社名板、蛍光灯付の料金です。詳細は添付の図をご覧ください。
 - バックパネル、サイドパネル、パラペット(社名板・蛍光灯貼り付け用)
 - 展示台(クロス付): W1800mm×D900mm×H700mm
 - 社名板(文字のみ、スミー色): W900mm×H200mm
 - 蛍光灯40W一灯
- ・ 大きなスペースやブースをご希望の場合には別途ご相談ください。
- ・ 小間の割当は出展物の種類、小間数、小間構成、実演の有無などを考慮し、主催者が決定し、各出展者へ通知いたします。出展者はこの割当てに対する異議申立てはできませんのでご了承ください。
- ・ 出展者が主催者の承諾なく小間の全部あるいは一部の譲渡・交換を行うことはできません。
- ・ 出展社説明会は行いません。開催の一か月前までに小間割、搬入などに関する詳細をご連絡いたします。
- ・ 学会プログラムへの参加は出展企業1社につき1名様まで無料となります。1名を超える説明要員はあらかじめ登録していただければ出展者用の名札をお渡しして、展示会場には自由にお入りいただけるようにします。
- ・ 本学会の趣旨から、機器展示において実際のユーザによるデモンストレーションを

強く推奨しています。そのため、ユーザである障害者・高齢者のための旅費・宿泊費の一部補助を行う予定にしています。まだ現時点では予算の面で詳細が確定していませんが、機器展示へのユーザの参加を検討なさっている企業・団体は実行委員会事務局まで予定人数をご連絡いただきますようお願い申し上げます。希望者数をみてから、予算の範囲内で各人への補助金額などを決めさせていただき、正式にご連絡をさしあげたいと存じます。また、ユーザの移動・宿泊等に特別な配慮が必要な場合にも情報提供等をさせていただきますので、ご連絡ください。

3. 広告要領

抄録集（A4版冊子）に貴社（機関）名の広告を掲載します。

表2（表紙裏）、表3（裏表紙裏） 84,000円（税込）

表4（裏表紙） : 126,000円（税込）

4色カラー刷りなどにもできます。

1ページ : 63,000円（税込）

1/2ページ : 42,000円（税込）

広告掲載ページは主催者で調整いたしますのでご了承ください。

抄録集配布先 : 学会参加者（エンジニア、理学療法士、作業療法士、ユーザ等）

印刷部数 : 350部（予定）

原稿 : 完全版下（紙焼き・データファイル）もしくは完全ポジフィルム

4. 学会バッグへの広告差し込み

学会参加者全員に配布する学会バッグの中に、貴社のパンフレット・カタログ・紹介CD-ROM等を入れます。

料金 : 21,000円（税込）

挿入するパンフレット等は指定する期日までに必要部数を実行委員会事務局までお送りいただきます。

5. 申込方法

添付の申込書に必要事項をご記入のうえ、ファックスまたは郵送にてご送付ください。

6. 申込締切

2009年3月31日（火）

7. 出展料・広告料のお支払

申込書受領後、請求書をお送りしますので、2009年4月25日までに指定口座（請求書に記載）にお振込みください。

8. 出展申込の取り消し

理由のいかんにかかわらず、2009年4月25日以降の取り消しに関しては一切お受けできませんのでご了承ください。2009年4月25日までの取り消しに関しては、25%のキャンセル料をお支払いいただきますことをご了承ください。

9. 申込先および本件に関する問い合わせ先

〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1-1-1 立命館大学工学部ロボティクス学科内

ICORR 2009 実行委員会事務局 担当：手嶋教之

Tel: 077-561-2880

Fax: 077-561-2665

e-mail: tejima@se.ritsumei.ac.jp

立命館大学工学部ロボティクス学科内
ICORR 2009 実行委員会事務局 宛
FAX 077-561-2665

ICORR 2009 機器展示申込書

標記事業の趣旨に賛同し、下記のとおり機器展示の申し込みをいたします。

年 月 日

所在地

社(機関)名

代表者名

印

小間数： _____ 区画 合計金額： 金 _____ 円也

本件のご担当者をご記入ください。

担当者氏名： _____

所 属： _____

住 所： _____

電話番号： _____

FAX番号： _____

E-mailアドレス： _____

立命館大学工学部ロボティクス学科内
ICORR 2009 実行委員会事務局 宛
FAX 077-561-2665

ICORR 2009 広告申込書

標記事業の趣旨に賛同し、下記のとおり広告掲載の申し込みをいたします。

年 月 日

所在地

社(機関)名

代表者名

印

掲載サイズ： _____ ページ 合計金額： 金 _____ 円也

本件のご担当者をご記入ください。

担当者氏名： _____

所 属： _____

住 所： _____

電話番号： _____

FAX番号： _____

E-mailアドレス： _____

立命館大学工学部ロボティクス学科内

ICORR 2009 実行委員会事務局 宛

FAX 077-561-2665

ICORR 2009 差し込み広告申込書

標記事業の趣旨に賛同し、下記のとおり学会バッグへの差し込み広告の申し込みをいたします。

年 月 日

所在地

社(機関)名

代表者名

印

金額 : 金 21,000 円也

本件のご担当者をご記入ください。

担当者氏名 : _____

所 属 : _____

住 所 : _____

電話番号 : _____

FAX番号 : _____

E-mailアドレス : _____

Booth Image

